

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：硫化ナトリウム九水和物

製品番号(SDS NO)：D005760-1

供給者情報詳細

供給者：国産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署：品質保証部

電話番号：045-328-1715

FAX：045-328-1716

e-mail address：cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先：国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

自己発熱性化学品：区分 1

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分 3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2(全身毒性、呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 1

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

自己発熱：火災のおそれ

飲み込むと有毒

重篤な眼の損傷

臓器の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

涼しい所に置き、日光から遮断すること。

涼しいところに置くこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避ける事

応急措置

漏出物を回収すること。

直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

吸入した場合: 呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

吸入した場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

積荷/パレット間に隙間をあけること。

指定数量以上の大量品は、指定温度以下の温度で保管すること。

他の物質から離して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性

自己発熱性があり、火災の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

化学物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
硫化ソーダ(九水和物)	90<	1313-84-4	-

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

硫化ソーダ(九水和物)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

硫化ソーダ(九水和物)

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

直ちに医師の診断/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

水で数分間注意深く洗うこと。

直ちに医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
周辺設備に適した消火剤を使用する。

不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
引火点が極めて低い

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
火災の場合:安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。
残存物を炭酸水素ナトリウムで希釈させ、多量の水で除去する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

注意事項

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

蒸気、ミスト、ガスを吸入しない事
酸と接触すると有毒ガスを放出する。火傷を引き起こす。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
きわめて燃えやすい：熱、火花、火炎により容易に発火する。
酸と接触すると有毒なガスを放出する。火傷を引き起こす。

配合禁忌等、安全な保管条件**適切な保管条件**

容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。
積荷/パレット間に隙間をあけること。
指定数量以上の大量品は、指定温度以下の温度で保管すること。
酸類との接触に注意して、酸類から離して保管する。

避けるべき保管条件

他の物質から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度データなし

ばく露防止**設備対策**

排気/換気設備を設ける。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

空気呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

水溶液はアルカリ性。酸で分解して硫化水素を発生する。腐食性が高い。

物理的状态

形状：潮解性結晶(正方晶系)

色：無色結晶

臭い：硫化水素臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点：融点 50°C

比重/密度：密度1.427(16/4°C)

溶解度

水に対する溶解度：可溶

溶媒に対する溶解度：アルコールに微溶
溶媒の溶解度：エーテルに不溶

10. 安定性及び反応性

反応性

空气中で酸化してチオ硫酸ソーダを生じ、酸によって硫化水素を発生する。

純粋な物は無色だが普通はポリ硫化物を生じて黄色を帯びる。

化学的安定性

潮解性有り。

危険有害反応可能性

酸類と接触すると有害性可燃性の硫化水素を発生する。

避けるべき条件

混触危険物質との接触

混触危険物質

酸、酸化剤、アルミニウム、銅、亜鉛

危険有害な分解生成物

硫黄酸化物、硫化水素

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

rat LD50 208mg/kg(RTECS 2005,IUCLID 2000),HSDB(2005)

急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)データなし

吸引力呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

水生毒性データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号：1849

品名(国連輸送名)：

硫化ナトリウム、水和物、結晶水含有率30質量%以上

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：8

容器等級：II

指針番号：153

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称表示危険/有害物(令18条)

硫化ソーダ(九水和物)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

硫化ソーダ(九水和物)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。